

報道関係者 各位

山梨県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

山梨県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

平成22年1月 8日  
山梨県福祉保健部 健康増進課  
感染症担当 渡辺、藤巻、小林  
内線 3512  
TEL 055-223-1494

## 抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す 新型インフルエンザウイルスの確認について

オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す新型インフルエンザウイルスが検出されたので、お知らせします。

なお、患者は既に回復し、周囲へのタミフル耐性を疑う感染も確認されていません。

### （経過概要）

インフルエンザの流行動向を把握するため、医療機関の協力を得て、インフルエンザ患者から採取した検体について、ウイルスが新型か季節性かの型を確認するウイルスサーベイランスを実施しています。

山梨県衛生公害研究所では、7月から12月の間にPCR検査で新型インフルエンザが確認された552検体のうち46検体を抽出し、タミフル耐性の検査を行ってきました。

今般、平成21年12月9日に採取された検体から、12月24日にタミフル耐性の遺伝子変異が認められました。

このため、国立感染症研究所へ分離ウイルス株を送付し、感受性試験を行った結果、1月7日夜にタミフル耐性が確認された旨の通知がありました。また、ザナミビル（商品名：リレンザ）については、感受性があることが確認されました。

なお、全国では、タミフル耐性を示す新型インフルエンザウイルスが本件を含め31例確認されており、県内では今回初めて確認されました。

### （患者の概要）

県内在住の3歳 男児

平成21年12月 4日 発熱、咳等のインフルエンザ症状が出現し受診  
簡易キットA（+）、タミフル処方。

12月 9日 再度発熱し、タミフル追加、抗生剤処方、検体を採取。  
数日で回復後、周囲に感染の広がりなし。

### （その他）

厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度（病原性）には直接影響を及ぼすものではないとされています。

本件は、平成21年12月14日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務局事務連絡「新型インフルエンザ（A/H1N1）に係る今後のサーベイランス体制等について（二訂版）」に基づき、新型インフルエンザウイルスの遺伝子解析等により、薬剤耐性を確認したことから、厚生労働省との連携のもと、公表を行うものです。

報道に際しましては、個人のプライバシーに十分配慮していただきますようお願いいたします。